

資料5 - 2

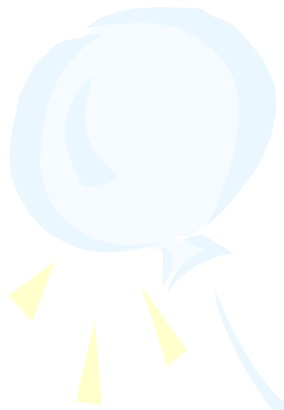
各公園の概要

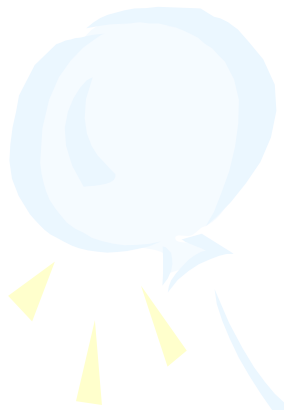




各公園の概要（Aグループ）

1. 箕面公園
2. 深北緑地
3. 枚岡公園
4. 錦織公園
5. 長野公園
6. 住吉公園
7. 住之江公園
8. 浜寺公園
9. 二色の浜公園







箕面公園



公園のあらまし

【所在地】箕面市箕面公園1-1

【面積】83.8ヘクタール

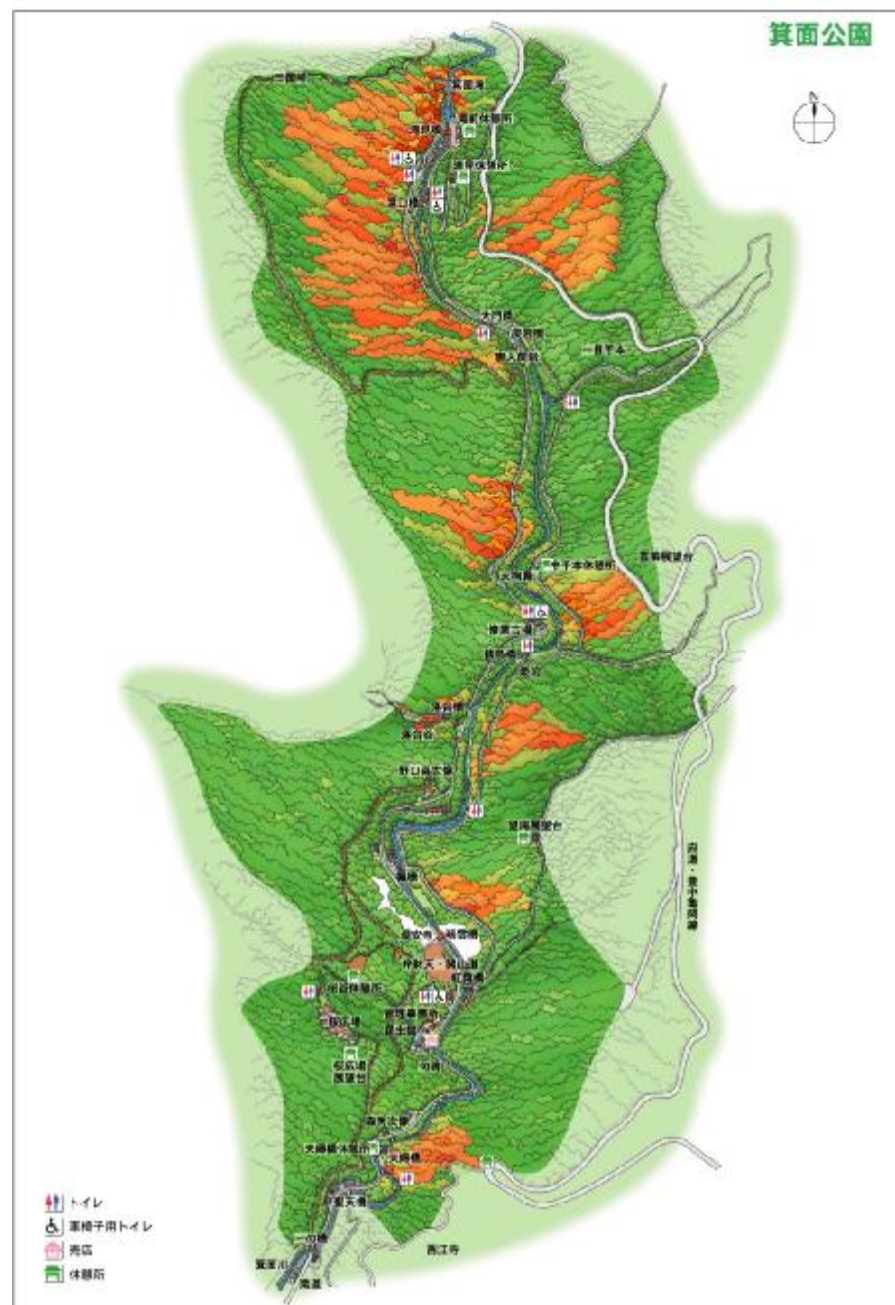
【主要施設】箕面の滝、昆虫館、ハイキング道、展望台（雲隣、望海、桜広場）、休憩所（梅屋敷他）、便所9棟、植栽 高木約3万本（うちモミジ約6000本、ヒノキ約1500本）

【概要】

明治の森箕面国定公園内に位置し、名勝「箕面山」として古くから滝と猿、溪流と楓の名所として有名。春は新緑、夏は納涼、秋は紅葉と四季折々に装いを美しく変え、府民のレクリエーションや自然観察の場として、また観光地としても親しまれている。多様な植物とともに多くの昆虫が生息し、日本三大昆虫宝庫の一つと言われ約3,000種類の昆虫が確認。

（特徴）

- ・滝道沿い、箕面川に面した旅館・飲食店等が河川の規制緩和を活かして「川床」を営業
- ・箕面大滝を中心とした観光拠点としての魅力を積極的に情報発信
- ・箕面の自然や昆虫を学べる教育的施設として昆虫館を設置



箕面公園

山に親しむ公園

■ 主な施設



滝見橋



修行古場休憩所



梅屋敷休憩所



一の橋

箕面公園
83.8ha



箕面大滝



望海展望台



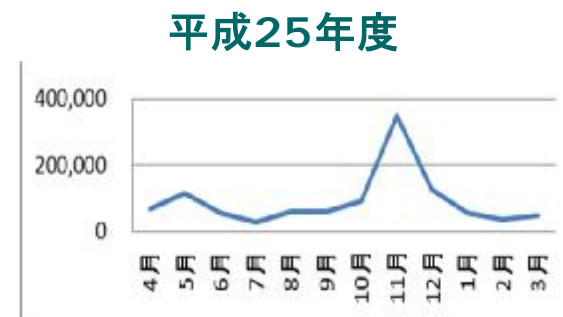
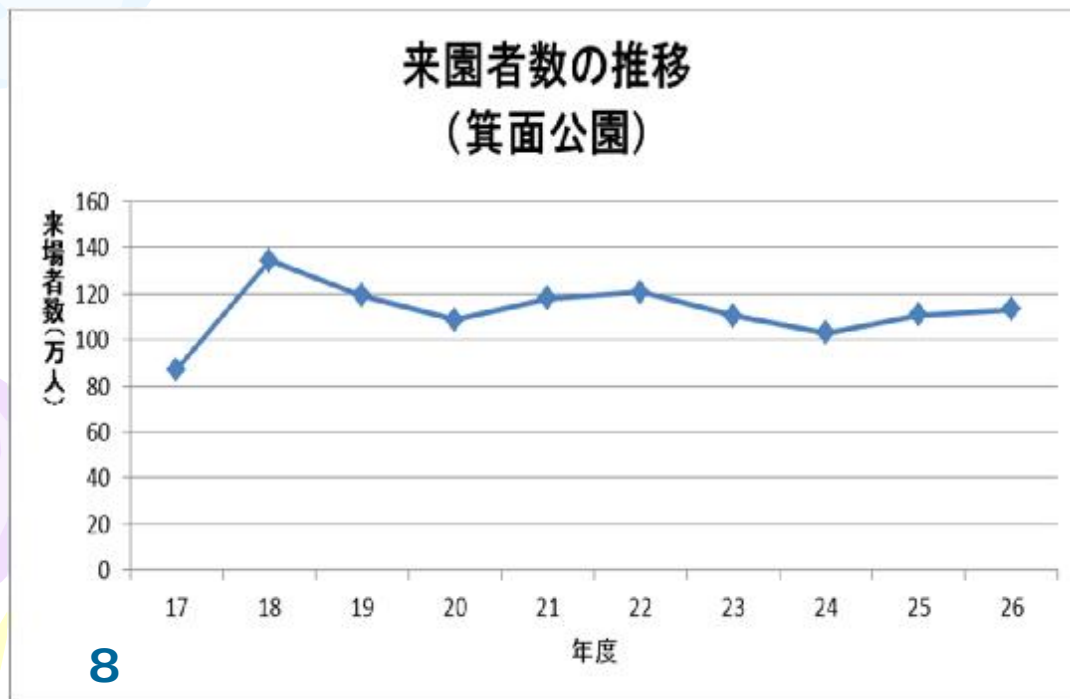
昆虫館

■ 周辺環境、地域特性

「大阪の奥座敷」と呼ばれ、都心から電車で40分の近郊に位置。阪急箕面線箕面駅に近接し、駅から徒歩で気軽に箕面川沿いの美しい自然に接することができる。

■ 利用状況(経年)

年間約110万人年(直近3ヶ年平均)が来園。その内の3割程度にあたる約36万人(直近3ヶ年平均)が紅葉時期の11月に来園。また昆虫館の来館者数は年間約5万人。



■ 主要施設(1) 昆虫館

【概要】

滝沿いにある昆虫館は箕面公園の自然や昆虫を学べる施設として、遠足などで多くの利用がある。

昆虫館には全国でも有数の昆虫標本のコレクションが展示され、年間を通じて蝶が舞う放蝶園がある。昆虫に関する基礎知識や箕面の森に生息する昆虫についてアートとコラボした展示や子どもが楽しめる昆虫工作も人気。

【特徴】

- ・小学3年生の視線で興味を持ち、理解できる展示内容
⇒昆虫に興味を抱けるような展示の工夫
- ・イベントや出前講座などによるソフト戦略
⇒昆虫教室、昆虫工作、標本作成イベントなど
- ・大学との連携⇒ミツバチの生態展示(京都産業大学)

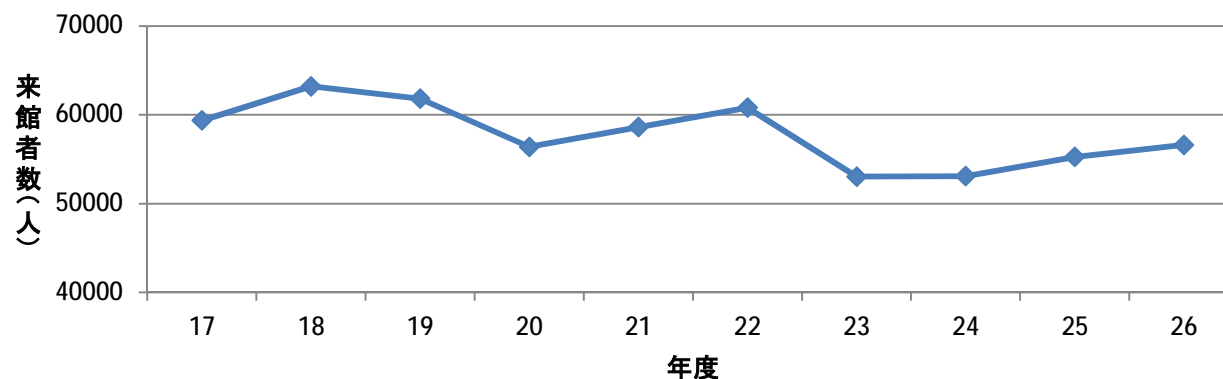
【参考】

取組み状況(H26)

- ・昆虫教室等の催し物
参加者 約20,000人
- ・移動昆虫教室
(幼稚園、小・中学校等)
約60施設



○箕面昆虫館来館者数の推移



■ 主要施設(2) 梅屋敷休憩所

◆特徴

○昔のお茶屋を再建

⇒外観とともに網代張りの天井まで、往時の「風情」を再現

○イベント会場として活用

⇒一の橋から滝道を上がって最初の休憩所。

イベント会場の一つとして利用。

■ 主要施設(3) 望海展望台

◆特徴

○大阪湾が一望

⇒急峻な「望海道」を登った標高約230mに位置する展望台

天候の良い日には大阪湾を一望できるビューポイント

■ 主要施設(4) 滝道

◆特徴

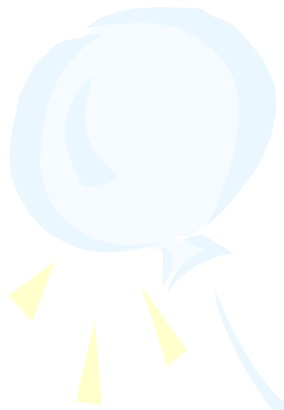
○主園路

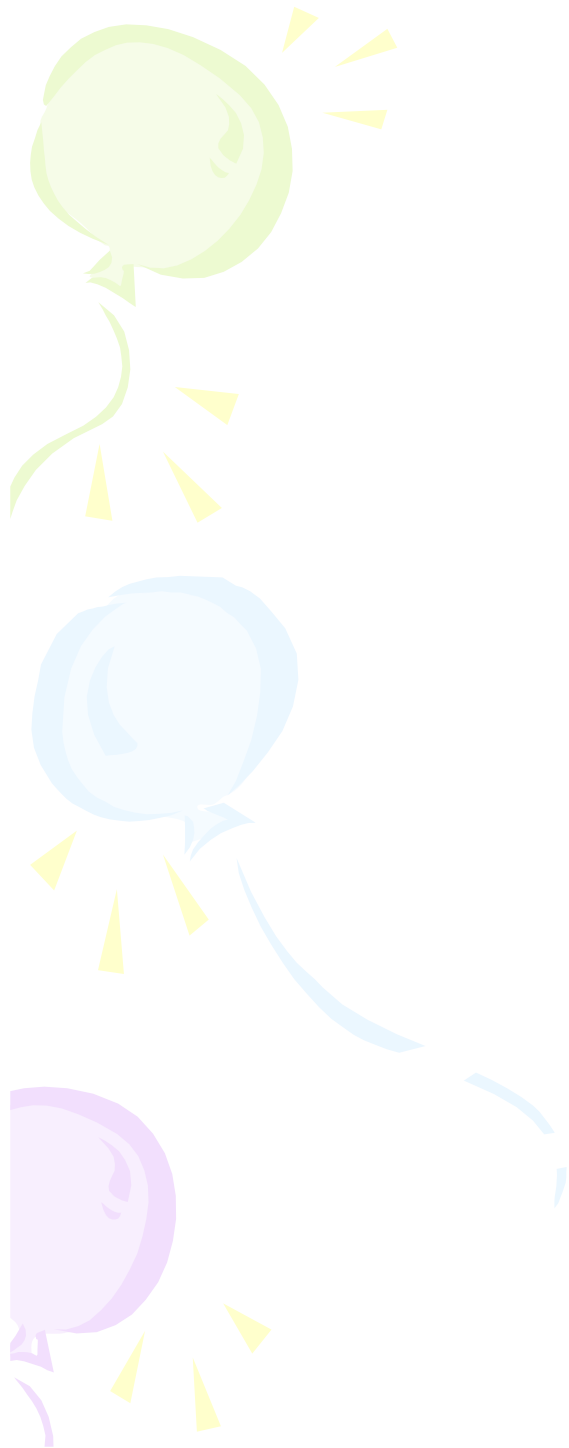
⇒一の橋から「日本の滝百選」に選ばれた箕面大滝(高さ33m)に至る延長約2kmの主園路。

○景観に配慮

⇒園路沿いの溪流とモミジの良好な景観を保全するため、一部区間では、無電柱化や照明柱デザインの変更、舗装の美装化等、景観に配慮したものとなっている。









深北綠地



公園のあらまし

【所在地】大東市深野北4-284

【面積】41.0ヘクタール

【主要施設】

テニスコート14面、軟式野球場、球技広場、芝生広場、水辺広場、桜の園、児童遊戯場(恐竜、とりで、ロケット)、波の広場、ドッグラン、スポーツハウス、便所6棟、植栽 高木約1万本(うちサクラ約1100本)

【概要】

寝屋川の洪水調整機能を備えた多目的遊水池公園「寝屋川治水緑地」として整備。

普段は府民の憩いの場として、高水時には遊水池として機能。遊水池の冠水頻度により、深野池を中心とした「水辺のゾーン」芝生広場や児童遊戯場を配した「ふれあいゾーン」、野球場やテニスコートのある「スポーツゾーン」の3つに区別。

古代河内湖の名残である深野池の水辺は、水生生物の貴重な生息場所。

(特徴)

「生き物とふれあえる都市公園計画」の自然学習ゾーンとして、「環境ふれあいワークショップ」を府民協働で実施。



深北緑地

健康と生きがいを支える公園

■ 主な施設



恐竜広場



深野池



ロケット広場



深北緑地
41.0ha

とりで広場



桜の園



テニスコート



軟式野球場



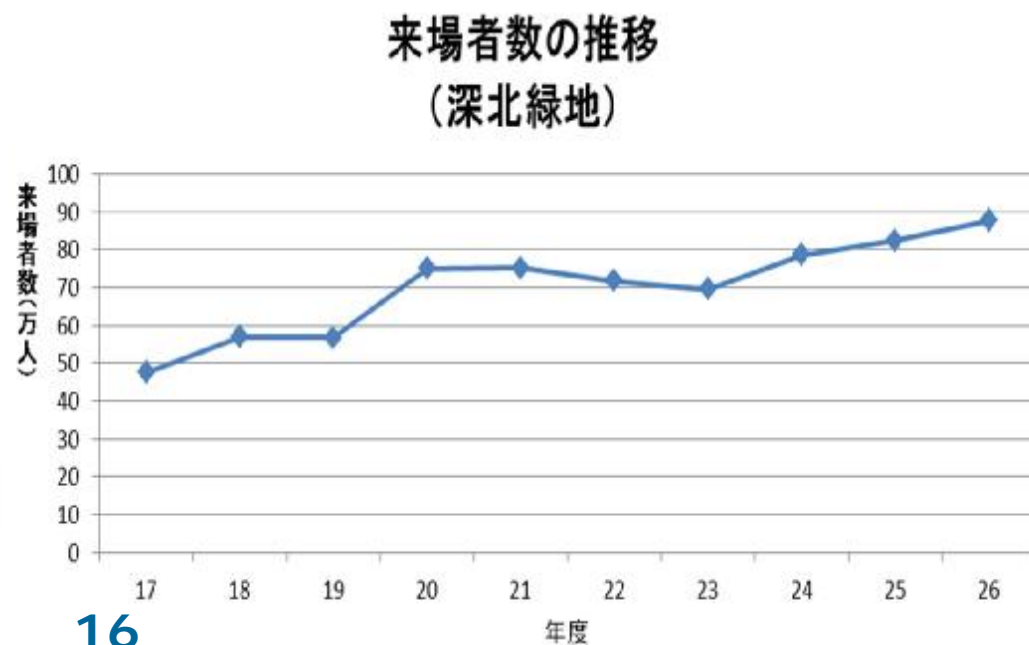
■ 周辺環境、地域特性

東側は国道170号(大阪外環状線)、南側は寝屋川支流の権現川に画され、周辺は中低層の住宅街。

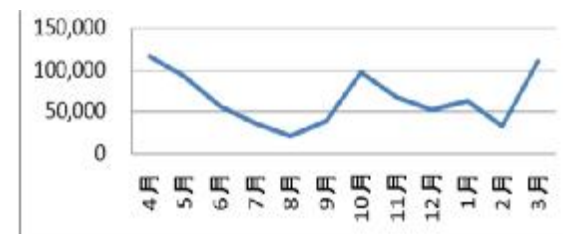
公共交通アクセスは、JR学研都市線四条畷駅、または野崎駅から。

■ 利用状況

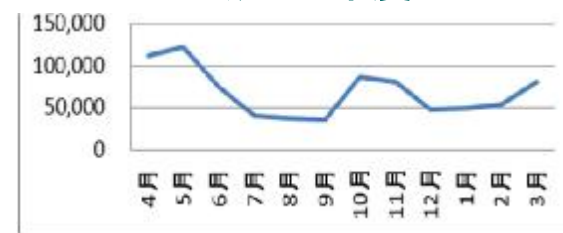
年間約80万人(直近3ヶ年平均)が来園。児童遊戯場や園内散策、スポーツ施設の利用などに幅広い年齢層の人が来園。来園者数は春秋の繁忙期以外は平均している。



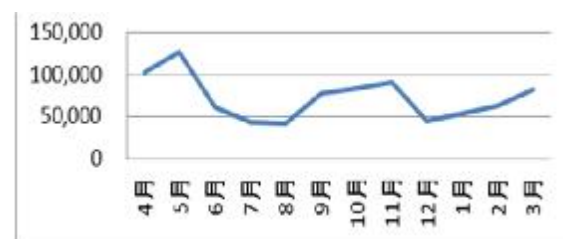
平成24年度



平成25年度



平成26年度



■ 主要施設(1) 遊戯広場

◆特徴

○恐竜広場、とりで広場、ロケット広場の3か所の遊戯広場があり、それぞれ古代、中世、近未来を時代背景に特徴ある遊具を設置

◆恐竜広場

- 面積:0.8ha
- 海をイメージした広い砂場に遊具を配置
- 主要遊具:恐竜滑り台、難破船(複合遊具)

◆とりで広場

- 面積:2.2ha
- 西洋風の城郭や城壁をモチーフ
- 主要遊具:城郭都市遊具(大型複合遊具)、とりで遊具(回廊状の円形木製デッキ、梯子、階段)、コンビネーション遊具(デッキ、滑り台)

◆ロケット広場

- 面積:1.3ha
- コンセプトは未来の冒険・宇宙旅行
- 主要遊具:大型ロケット複合遊具、ロープジャングル、ロックブロック、鉄棒、ブランコ等の外、ユニバーサル遊具や幼児遊具、健康遊具



■ 主要施設(2) スポーツ施設

◆特徴

○冠水頻度の一番低いスポーツゾーンを中心に整備され、テニスコート・軟式野球場・球技広場及びスポーツハウスで構成。年間来園者数の10%、約7万人が利用している。

◆テニスコート(14面)

- ・「大阪サテライトジュニアテニス深北大会」など4大会を開催

◆軟式野球場

- ・「北河内少年野球深北決勝大会」などを開催
- ・大阪産業大学の学生との協働による野外映画鑑賞イベントの場としても活用

◆球技広場

- ・サッカーやグランドゴルフ大会などを開催

◆スポーツハウス

- ・血圧や体重測定コーナーを設けスポーツステーションとしての機能
- ・子ども向けの走り方教室から高齢者向けのいきいき健康ウォーキング教室までニーズに合った教室を開催









枚岡公園



公園のあらまし

【所在地】東大阪市東豊浦町12-12

【開設面積】43.8ヘクタール

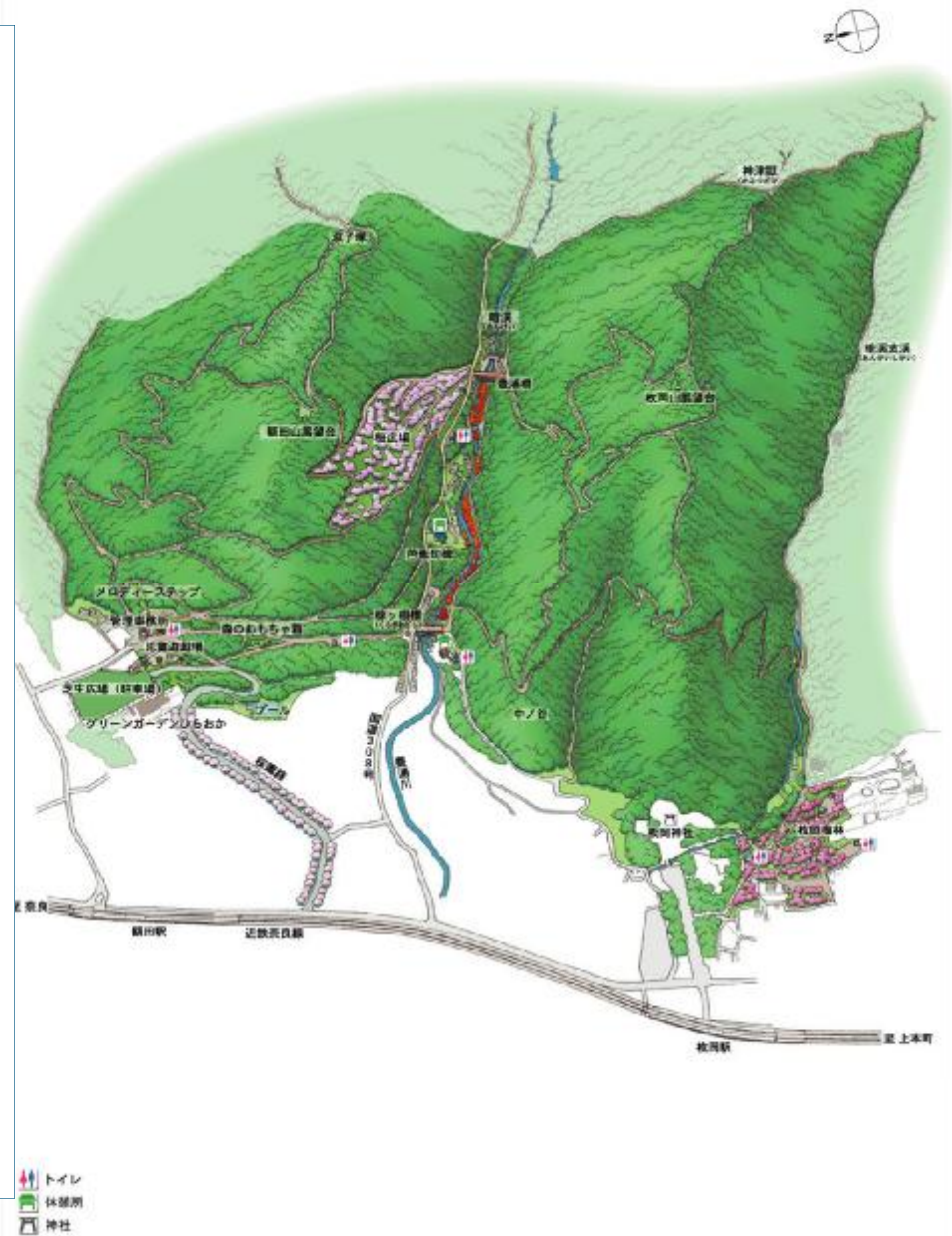
【主要施設】

展望台(枚岡山、額田山)、児童遊戯場(森のおもちゃ箱)、桜広場、ちびっこ広場、芝生広場(駐車場)、みんなの広場、枚岡梅林、便所6棟

【概要】

金剛生駒紀泉国定公園内に位置し、生駒山腹のクヌギ、コナラを主体とした美林に覆われ、園内各所のヒラドツツジや枚岡梅林が目を楽しませてくれる森林公園。暗溪をはさんで北に額田山、南に枚岡山があり、展望台からは大阪平野から、遠くは六甲の山並みを一望できる。春3月の観梅、4月の桜まつり、初夏の新緑、夏には子供たちの昆虫採集、秋から初冬にかけては紅葉を求める老若男女のハイキングと、四季を通じて自然を満喫することができる公園。

(特徴)延長9kmに及ぶ園路は森林浴に適した散策路で府民の森「ぬかた園地」、「なるかわ園地」と接続



枚岡公園

山に親しむ公園

■ 主な施設

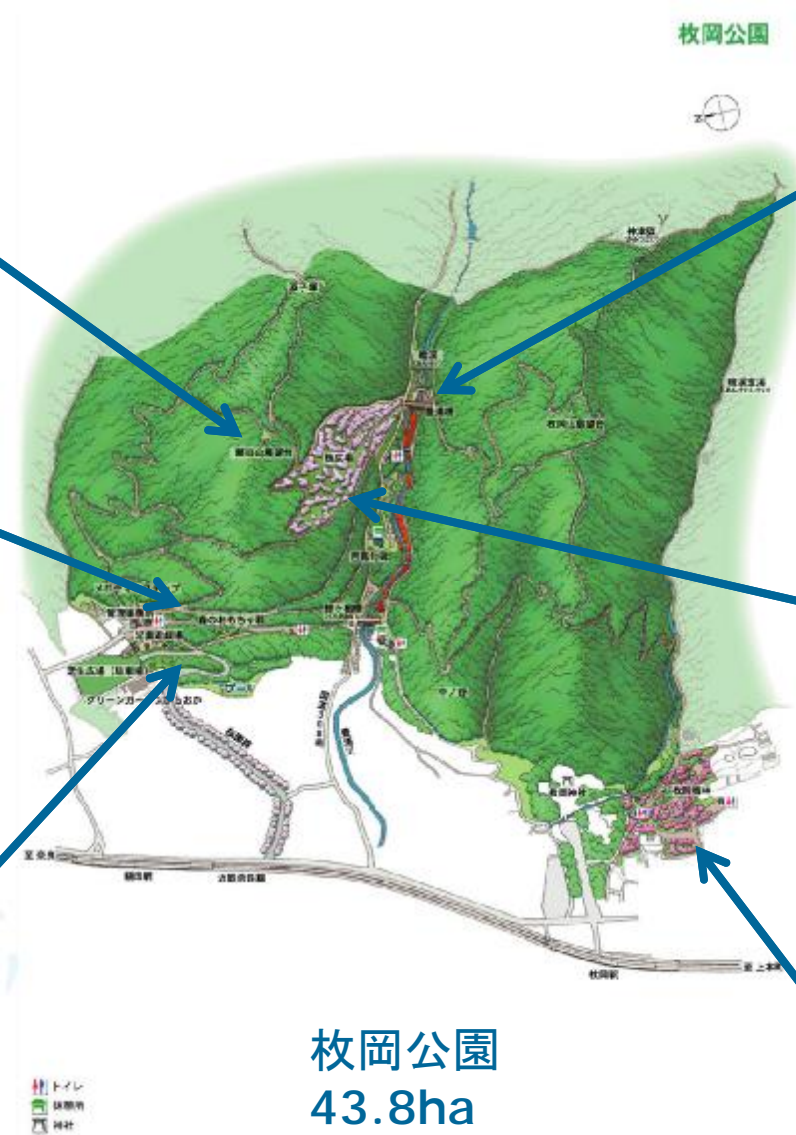
額田山展望台



森のおもちゃ箱



みんなの広場



豊浦橋



桜広場



枚岡梅林

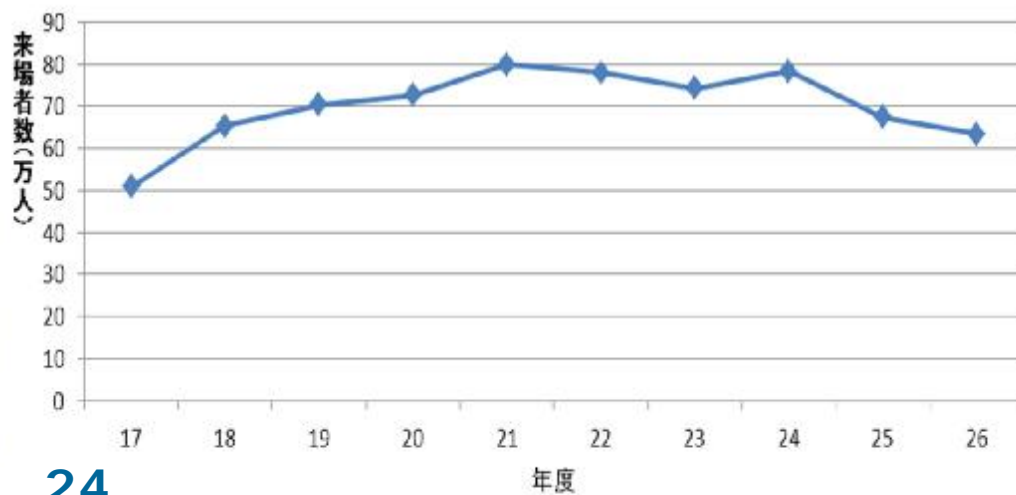
■ 周辺環境、地域特性

奈良県と境を接する生駒山系の山腹に位置し、大阪都心部から直線距離、時間距離ともに近いこともあり、生駒山への軽登山の主要な玄関口となっている。国道308号(暗峠)が縦断し、近鉄奈良線の枚岡駅・額田駅から徒歩約15分と、公共交通アクセスに恵まれている。

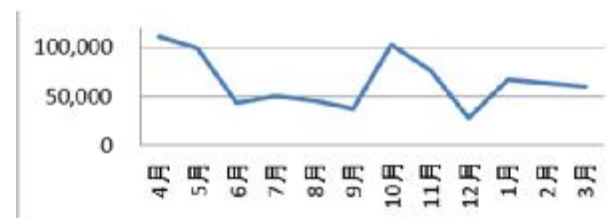
■ 利用状況

年間約70万人(直近3ヶ年平均)が来園。利用者の多くは生駒山へのハイカーで占められるが、学校等の遠足、観梅・花見(サクラ)時期の利用も多い。

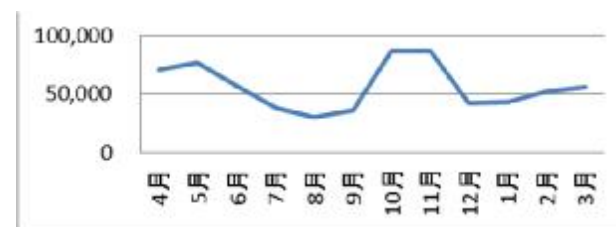
来場者数の推移 (枚岡公園)



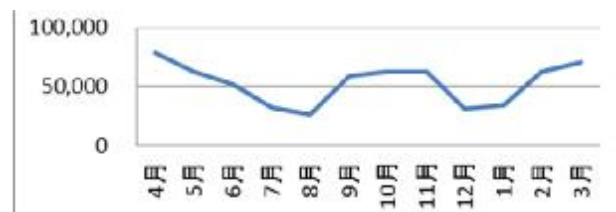
平成24年度



平成25年度



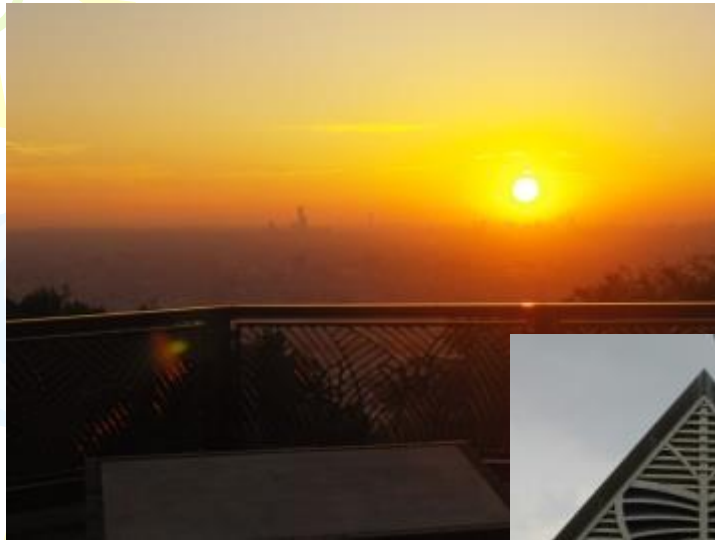
平成26年度



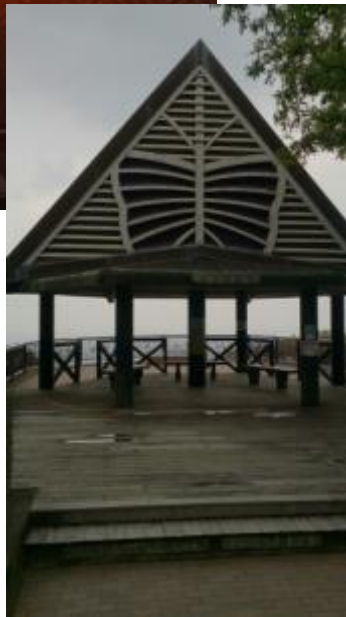
■ 主要施設(1) 展望台(額田山・枚岡山)

◆特徴

○山の公園の特性を活かした眺望、四季の風景を楽しむ公園



額田山
展望台



枚岡山
展望台



■ 主要施設(2) 枚岡梅林

【概要】

- ・明治9年、地元有志が枚岡神社に土地を寄付し、神社所有地と合わせて梅樹を植え梅園を造成。大阪府域で最も古い梅林。
- ・梅 333本(平成26年11月現在)
- ・毎年2~3月のウメ開花期に、野点などのイベント開催
- ・東大阪市指定名勝、平成元年に梅林を含む枚岡公園が「大阪みどり百選」に、平成13年には梅林と神社の木立が環境省の「かおり風景100選」に選ばれており、地域の観光名所として親しまれている。

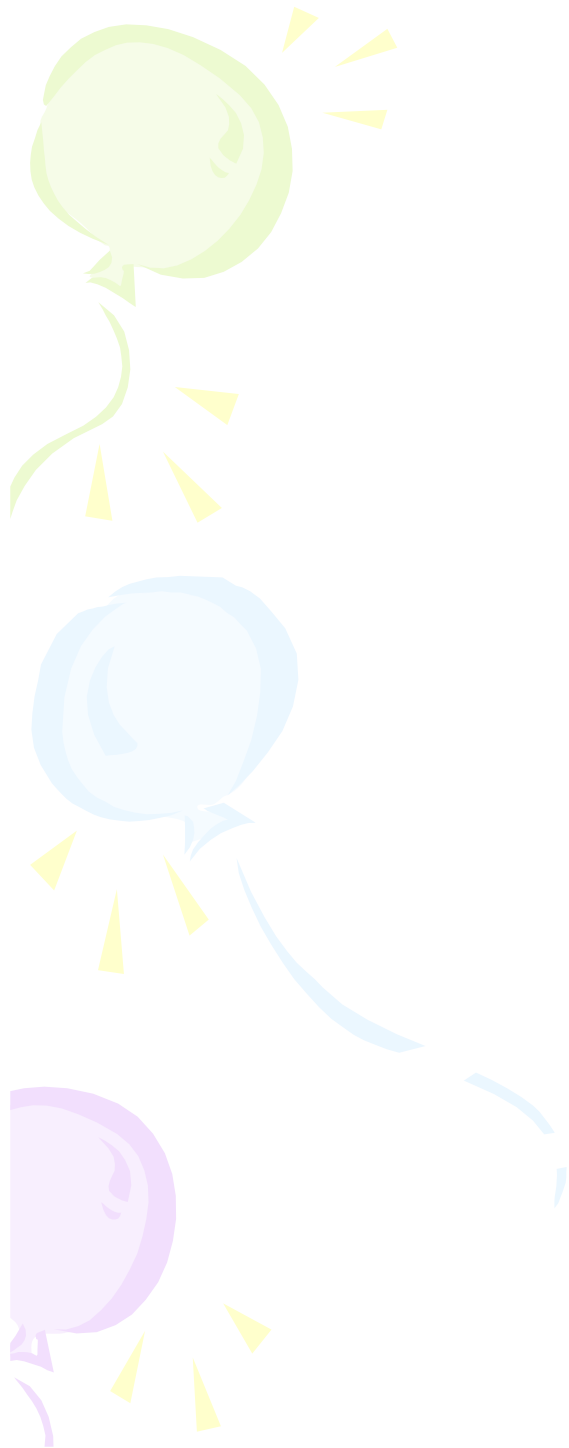


■ 主要施設(3) みんなの広場

◆特徴

- 家族でピクニック、遠足のお弁当広場など、大阪平野を一望しながら多彩な利用できる広場。
- 広場の地下には、元あった施設であるプール槽を活用した防火水槽が埋設。







錦織公園



公園のあらまし

【所在地】富田林市錦織1560

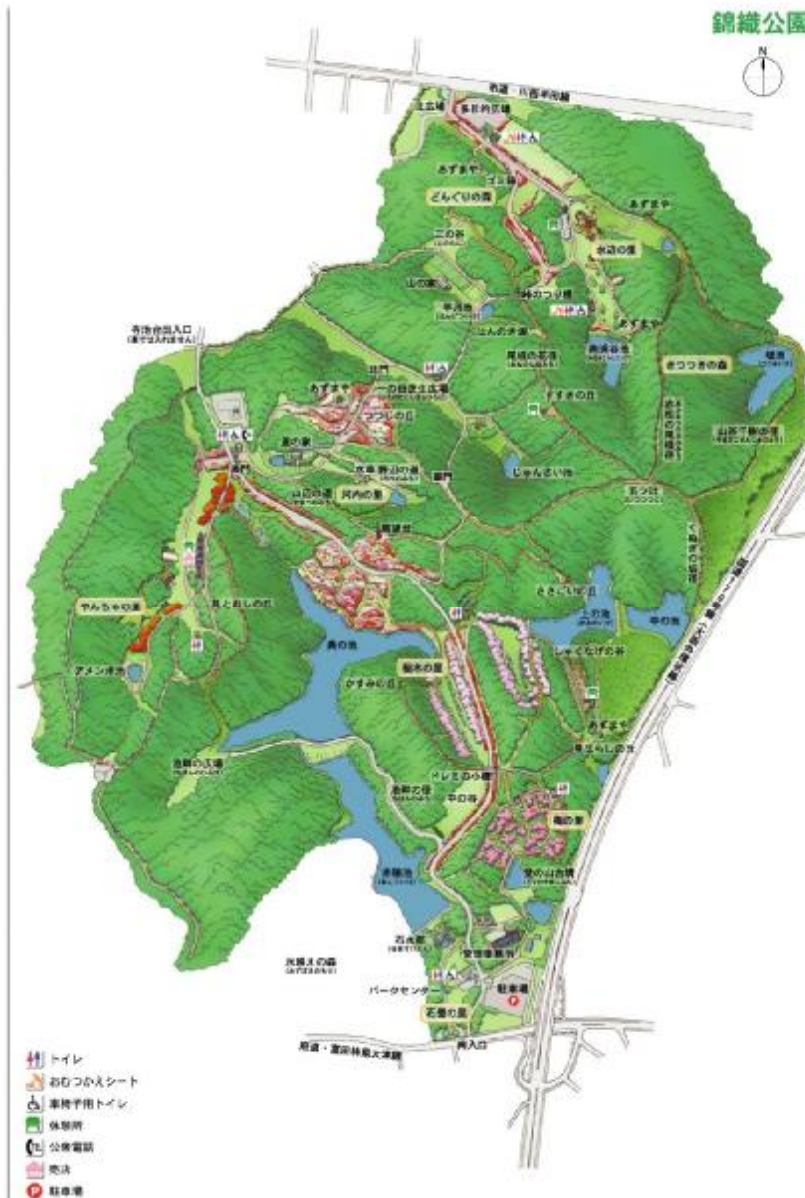
【開設面積】65.7ヘクタール

【主要施設】河内の里、児童遊戯場(やんちゃの里、水辺の里)、梅の里、展望台、桜木の里、つつじの丘(河内の里)、パークセンター、石水苑、ドレミの小橋、峠の吊り橋

【概要】起伏に富んだ地形を活かし、里山の自然の保全を図る公園。園内には河内の里山の風景を復元した「河内の里」や「梅の里」、「シャクナゲの谷」等、見どころスポットが盛りだくさん。緑の尾根からは、東側から南へかけて二上山・大和葛城山・金剛山・岩湧山・和泉葛城山の雄大なパノラマが眺望できる。

(特徴)

- ・大型複合遊具を備えた児童遊戯場が2か所あり、遠足利用等も多い。
- ・広大なみどりの丘陵地の中にため池もあり、地域の美しい自然環境、のどかな里山風景のベースとなっている。
- ・「河内の里」には水車小屋や農家風の休憩所(里の家)、周囲には庭園や畑が広がり、のどかで昔懐かしい里山風景を再現。



錦織公園

山に親しむ公園

■ 主な施設



河内の里



やんちゃの里



水辺の里



桜木の里



梅の里

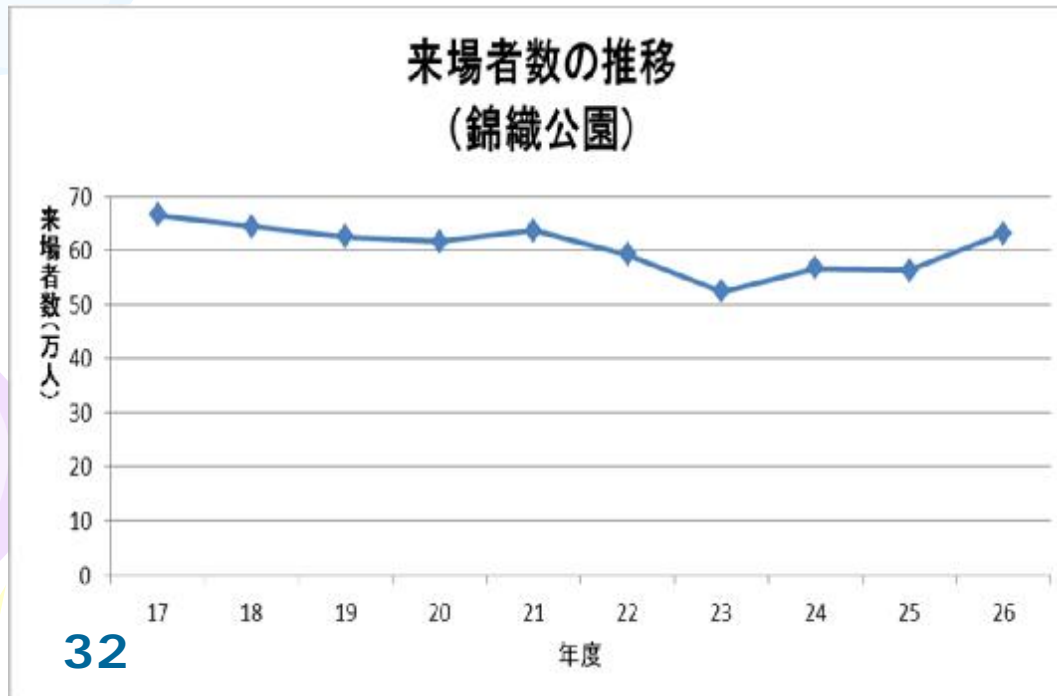
■ 周辺環境、地域特性

市の南西部にあり、東側は国道170号(大阪外環状線)、西側は閑静な住宅街。公共交通は、南海高野線滝谷駅、金剛駅、または近鉄長野線滝谷不動駅の利用。

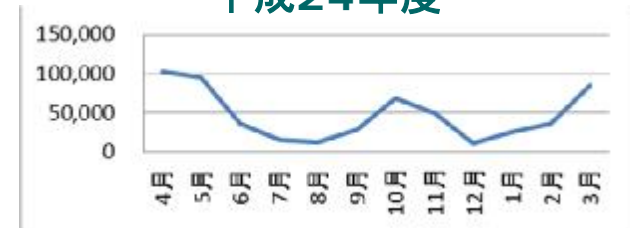
■ 利用状況

年間約60万人(直近3ヶ年平均)が来園。休日には遠方からの家族連れが車を利用し、児童遊戯場を目的に多数訪れる。

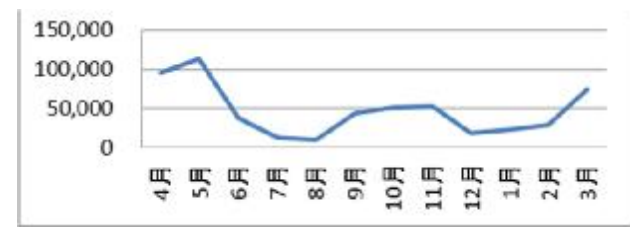
ウメ・サクラ・ツツジ・シャクナゲ等、花の名所としても多くの方が来園。



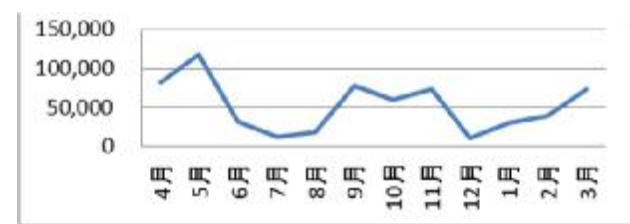
平成24年度



平成25年度



平成26年度



■ 主要施設(1) 河内の里

【概要】

- ・「大阪ミュージアム構想」に登録されている『河内の里』は南河内地方に広がっていた昔の里山の風景を復元したものであり、里の家、畑・水田、茶畑、芝生地、低木群植地、樹林地等で構成
- ・「里山ゾーン」「山辺の道」「野辺の道」「つつじの丘」などゾーン毎の特徴と趣旨を十分に活かしたイベント等も開催



里山ゾーン



稲刈り体験



里の秋フェスタ



工作体験



綿摘み体験

◆特徴

○里山の風景を再現

⇒『里山ゾーン』は昔の農家風の建物とともに、米、綿、茶等を栽培して南河内の里山の風景を再現。また、レンゲツツジ等8種18000本を植えた『つつじの丘』、『山辺の道』、『野辺の道』で構成

○見るだけではなく、体感してもらう施設

⇒農業体験講座、藍染め体験、綿摘みと糸紡ぎ体験等のイベントを開催

○魅力づくりに大学と連携協力

⇒『里の秋フェスタ』『河内の里の秋祭り』のイベントで子ども向け遊び、バトン、演奏等を実施(大阪大谷大学・大阪千代田短期大学)



つつじの丘



河内の里

■ 主要施設(2) 梅の里



梅の里

初春から晩春まで開花が続くよう、早生から中生、晩生と25種、約450本の観梅を植栽し、花だけではなく、ウメの香りも楽しめる梅林。

■ 主要施設(3)遊 戯 場

◆特徴

○『水辺の里』『やんちやの里』の広々とした遊戯場

⇒大型複合遊具が多数存在し、遊びのバリエーションが豊富。

斜面地を利用した滑り台も人気で、大型休憩所も設置されている。

やんちやの里



水辺の里



水辺の里



水辺の里休憩所







長野公園



長野公園

山に親しむ公園

公園のあらまし

【所在地】河内長野市末広町581-1

【開設面積】46.3ヘクタール

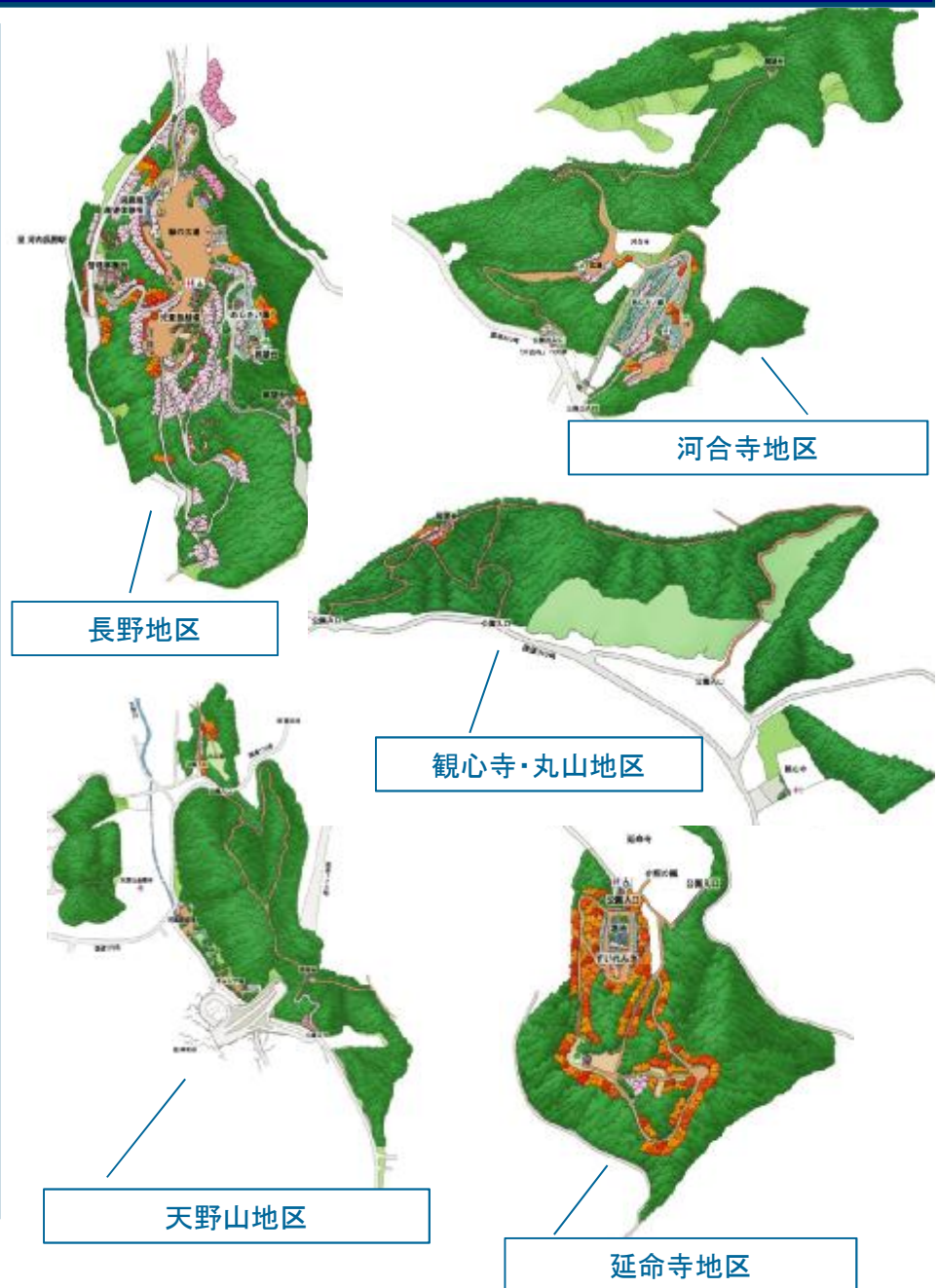
【主要施設】あじさい園(河合寺地区、長野地区)、展望台(長野地区、河合寺地区・観心寺・丸山地区、天野山地区)、回廊休憩所(長野地区)、休憩所(河合寺地区、延命寺地区、天野山地区)、児童遊戯場(長野地区、天野山地区)、キャンプ場(天野山地区)

【概要】

金剛山麓の丘陵部に5地区が点在。山の自然を活かした樹林地景観と素晴らしい眺望を楽しめる公園。春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬は雪景色と日本の四季の景観、また園路沿いにひっそりと咲く自然の草花が来園者の目を楽しませる。

(特徴)

- ・園内の桜や紅葉などの美しさとともに、金剛山系の広大な山並みが風格のある景観を形成。
- ・大阪都心から大阪湾までを望める眺望の良い展望台。



長野公園

山に親しむ公園

■ 主な施設

愛称: 奥河内
あじさい公園

河合寺地区
2.9ha



あじさい園

愛称: 奥河内
さくら公園

回廊式休憩所と桜



39

長野地区
3.4ha



展望台

愛称: 奥河内
楠公の里

観心寺・丸山地区
13.1ha



展望台

延命寺地区
1.2ha

愛称: 奥河内
もみじ公園

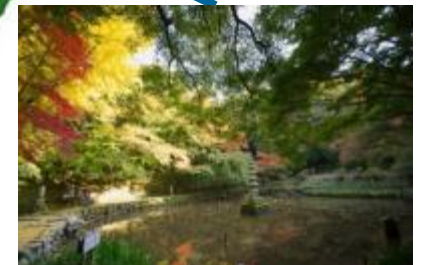


キャンプ場

天野山地区
25.7ha

愛称: 奥河内
天野キャンプの森

ハス池



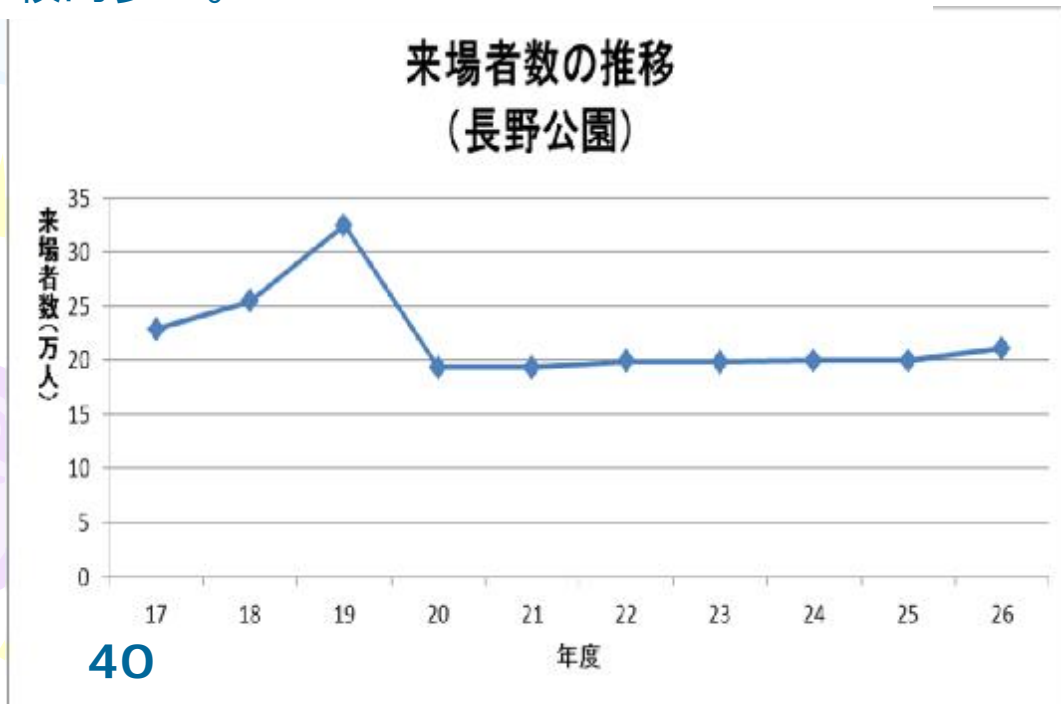
■ 周辺環境、地域特性

河内長野市南部に位置し、5地区のうち3地区は寺院の後背地を園地としている。
金剛山麓の美しい自然に囲まれ、近隣には古代のロマンが感じられる名所旧跡が数多く存在。

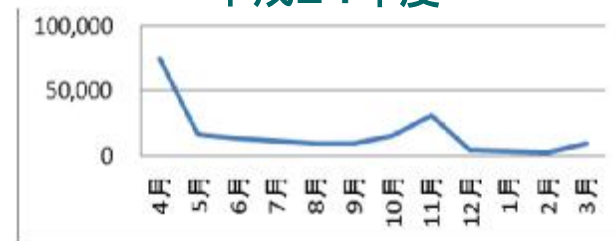
公共交通は南海高野線・近鉄長野線河内長野駅から路線バス。
天野山地区では、国道170号(大阪外環状線)の天野山トンネルが横断。

■ 利用状況

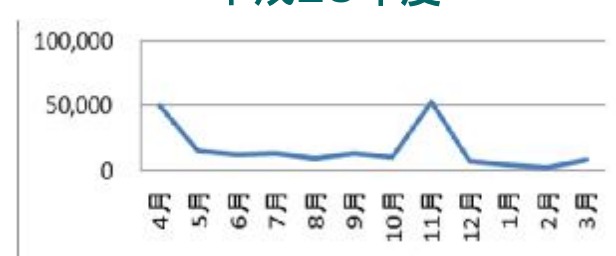
年間約20万人(直近3ヶ年平均)が来園。
サクラ・アジサイ・紅葉の時期の来園者が比較的多い。



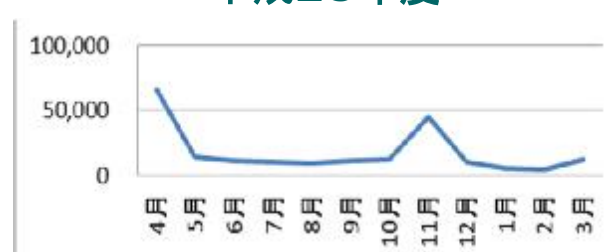
平成24年度



平成25年度



平成26年度



■ 主要施設(1)

ハス池(延命寺地区)、回廊式休憩所(長野地区)

◆特徴

○自然の豊かさを楽しめる公園

⇒春はサクラ、初夏の新緑、秋の紅葉、冬は雪景色と日本の四季を存分に楽しむことができる。

- ・延命寺のハス(千重紅)
池一面に開花するハスの花の景観が見事。
- ・サクラ(河合寺地区、長野地区)
市内の景色が一望できる広場に咲く桜は有名。
シーズンには昼夜を問わず花見客が訪れる、



延命寺のハス



長野地区のサクラ



延命寺の夕映えモミジ

■ 主要施設(2) 展望台

◆ 特徴

○山の公園の特性を活かした眺望、四季の風景を楽しめる公園

⇒各地区の展望台より大阪湾や金剛山系の素晴らしい眺望



天野山地区展望台から



観心寺・丸山地区展望台から



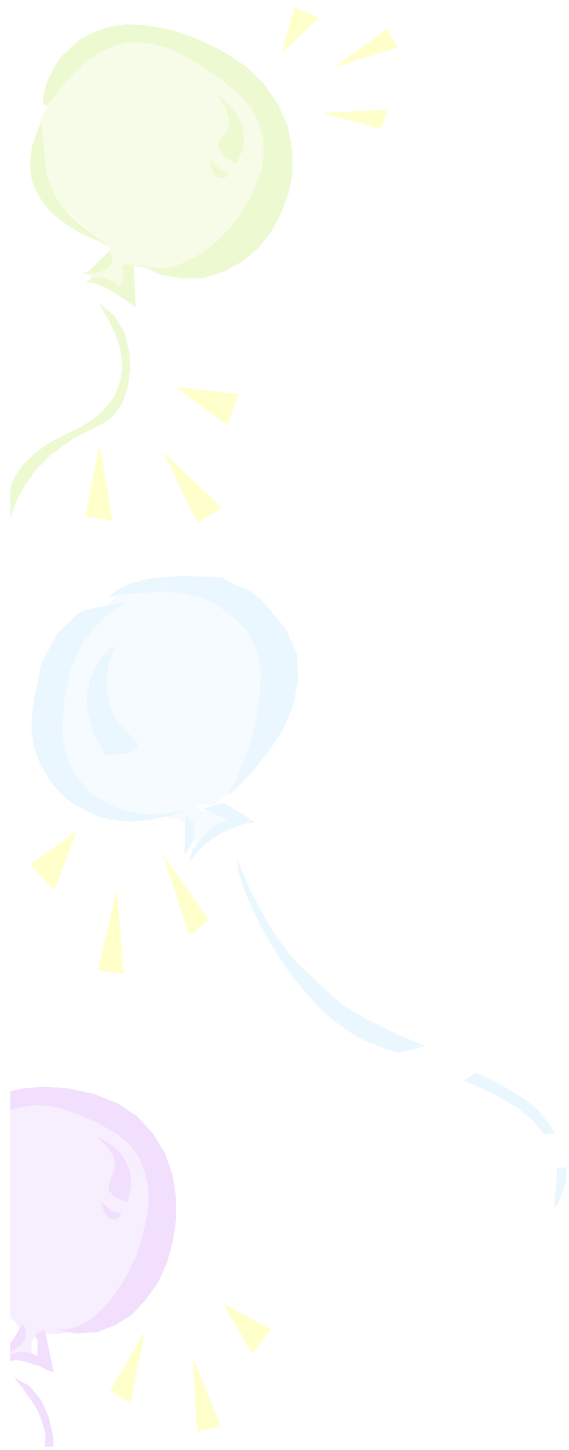
展望台(観心寺・丸山地区)

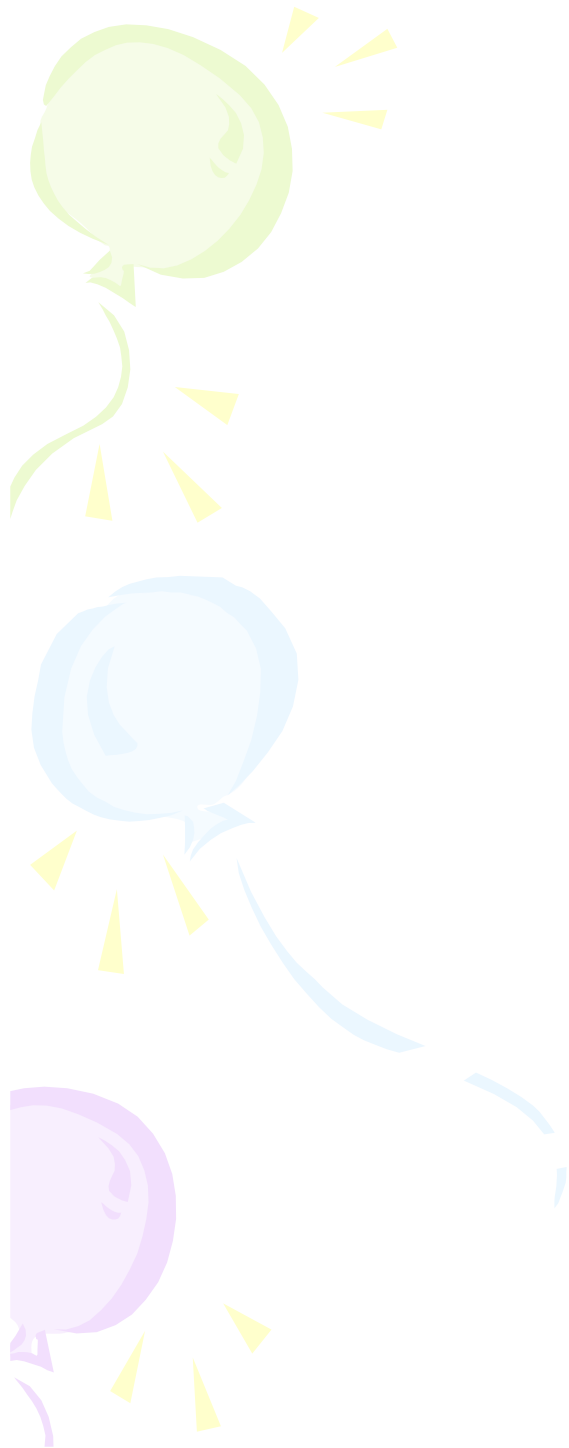


展望台(河合寺地区)



展望台 (長野地区)







住吉公園



住吉公園

健康と生きがいを支える公園

公園のあらまし

【所在地】 大阪市住之江区浜口東1-1-13

【開設面積】 8.0ヘクタール

【主要施設】 花と水の広場、心字池、汐掛道、桜広場、児童遊戯場、体育館、軟式野球場(1面)、テニスコート(2面)、運動場(1面)

【概要】

明治6年の太政官布告によって開設された、大阪では最古の公園の一つ。

もとは住吉大社の境内地の一部であり、表参道(汐掛道)の常夜灯や鎌倉時代の灯台を復元した高灯籠、松尾芭蕉の句碑など、往時の風情を残す歴史的建造物等を包含する。

心字池や桜広場、花と水の広場等、見どころ施設が盛り沢山。野球場、テニスコート等の運動施設を合わせて、歴史散策やスポーツなど様々に楽しめる公園。「日本の歴史公園100選」にも選ばれている。

(特徴) 交通至便の大都市部の貴重なみどりの空間として、地域の良好な環境形成に寄与。府営公園の中で小規模公園でありながら、修景施設や運動施設が充実。



住吉公園

健康と生きがいを支える公園

■ 主な施設



高灯籠



汐掛道



桜広場
47



花と水の広場



心字池



体育館

■ 周辺環境、地域特性

大阪市の南西部に位置し、南海本線住吉大社前・阪堺電軌鉄道住吉公園前駅隣接、国道26号にも面した交通至便の公園。

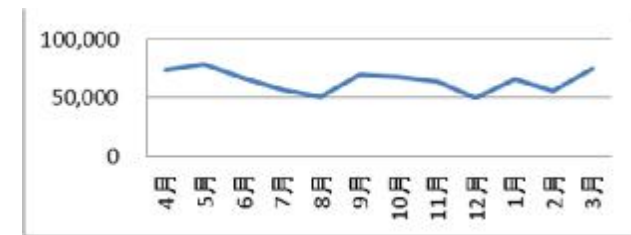
周辺は大阪市内の市街地にあつて、主に中低層の住宅街となっている。

■ 利用状況

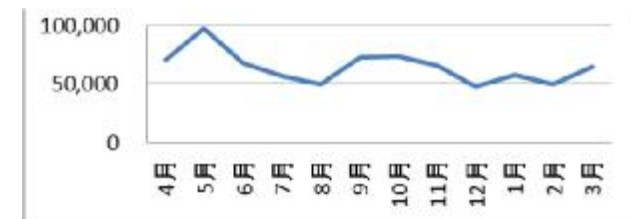
年間約80万人(直近3ヶ年平均)が来園。各施設の利用者に加え、住吉大社とも近接していることから、参拝者を含めた多くの人々が来園。行楽シーズンである5月の利用が特に多く、年間を通じて安定した利用がある。

府営公園の施設の中で唯一の体育館を年間約6万人が利用。

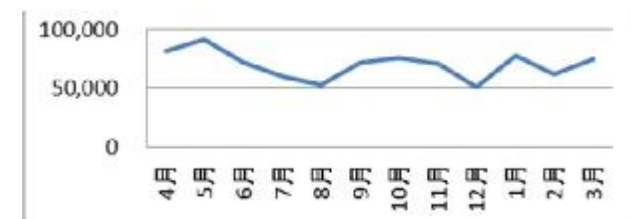
平成24年度



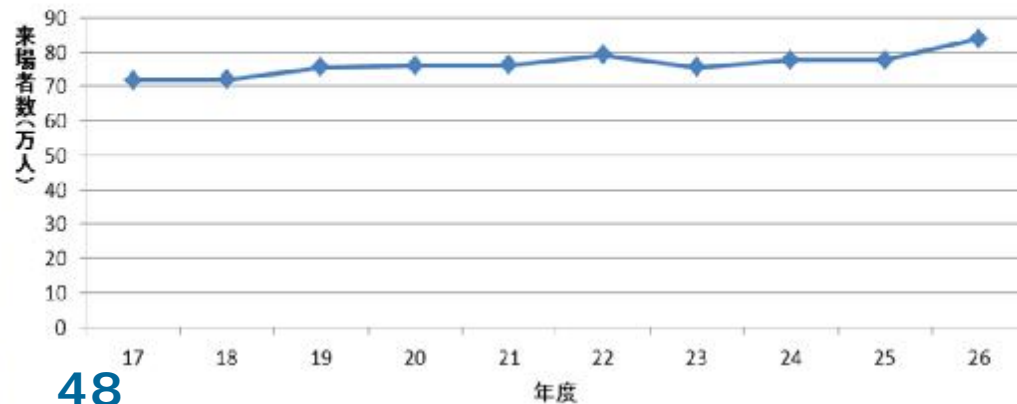
平成25年度



平成26年度



来場者数の推移 (住吉公園)



■ 主要施設(1) 汐掛道周辺(花の回廊)

◆ 特徴

- 花の回廊とは、「花と水の広場」、「汐掛道」及び「立体花壇」で構成される花壇群
- 本施設は、市街地にある本公園の区域を花々で一杯にし、水の演出と花の彩りが調和した、特徴ある修景を意図
- 住吉大社に参拝する船人や渡航者の参道として、高灯籠、常夜灯などが当時の名残をとどめる公園のシンボルロード
- 「花と水の広場」、「汐掛道」、「立体花壇」と合わせて、年間を通じて四季折々の草花で演出



高灯籠



汐掛道



事務所前花壇(立体花壇)



花と水の広場

■ 主要施設(2) 心字池周辺(水の回廊)

◆特徴

○「花と水の広場」「心字池周辺」「汐掛道沿いの壁泉」を中心に、かつてこの地が住吉の浜であったことから様々な水の景観を演出

○特に、太鼓橋のかかる心字池周辺は、歴史ある公園の佇まいを今に伝える。

○住吉名勝保存会により復元、寄贈された「ラジオ塔」は、日本最古のものの一つとされ、現在も地域で親しまれている。



花と水の広場



壁泉



心字池



ラジオ塔

■ 主要施設(3) 体育館及び集会所

◆特徴

○住之江競艇運営協議会より体育館(S48.6)及び集会所(S54.1)の寄贈。

○地域住民が身近に利用でき、日常的に親しまれている施設。

○体育館については平成27年度改修工事中。



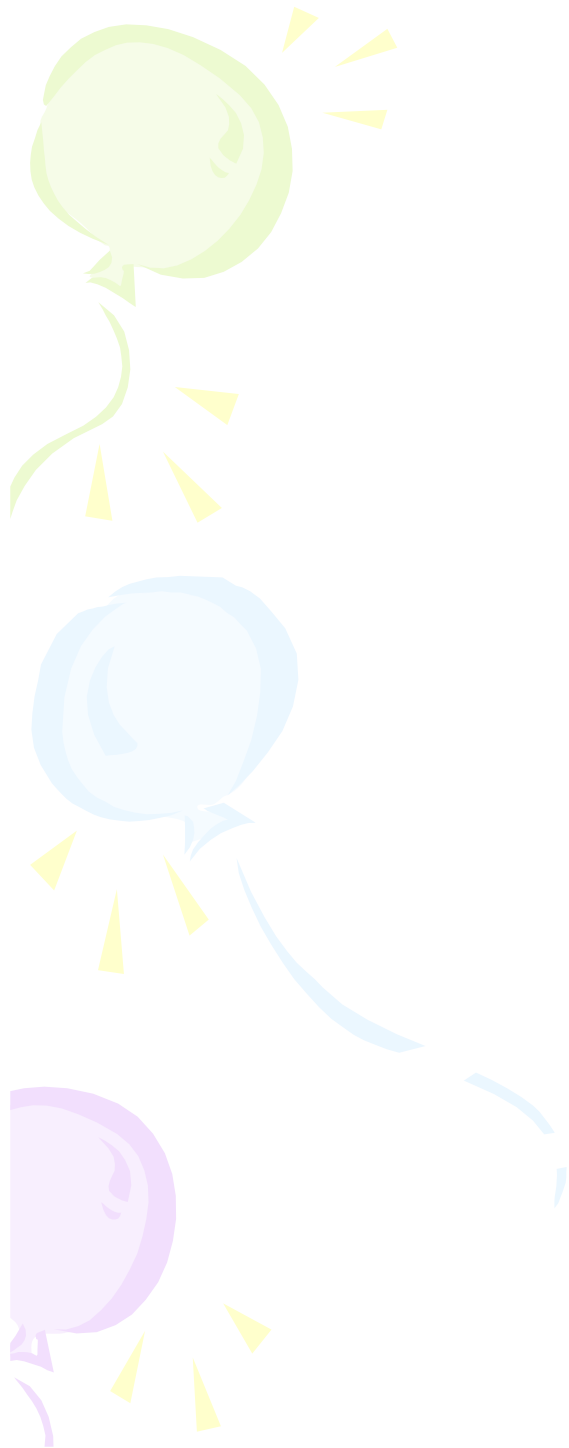
体育館



体育館(2階競技室)



集会所





住之江公園



住之江公園

健康と生きがいを支える公園

公園のあらまし

【所在地】 大阪市住之江区南加賀屋1-1-117

【開設面積】 15.1ヘクタール

【主要施設】 花と緑のスクエア、大池、児童遊戯場、野球場、球技広場、テニスコート(5面)、プール等

【概要】

都会の中にありながら、イングリッシュガーデン風の花と緑の景観、歴史が息づく水と緑の風景が連続し、都会の中にいることを忘れてしまうほど自然が感じられる公園。野球場をはじめ球技広場、テニスコート、プールなどの運動施設、児童遊戯場とみどりの中に配置された公園施設も多彩。

(特徴)

交通の便の良い大都市部の貴重なみどりの空間として、地域の良好な環境形成に寄与。また、野球場などのスポーツ施設のある公園として広く府民に知られる。



住之江公園

健康と生きがいを支える公園

■ 主な施設



花とみどりのスクエア



プール
55



大池(太鼓橋)



野球場



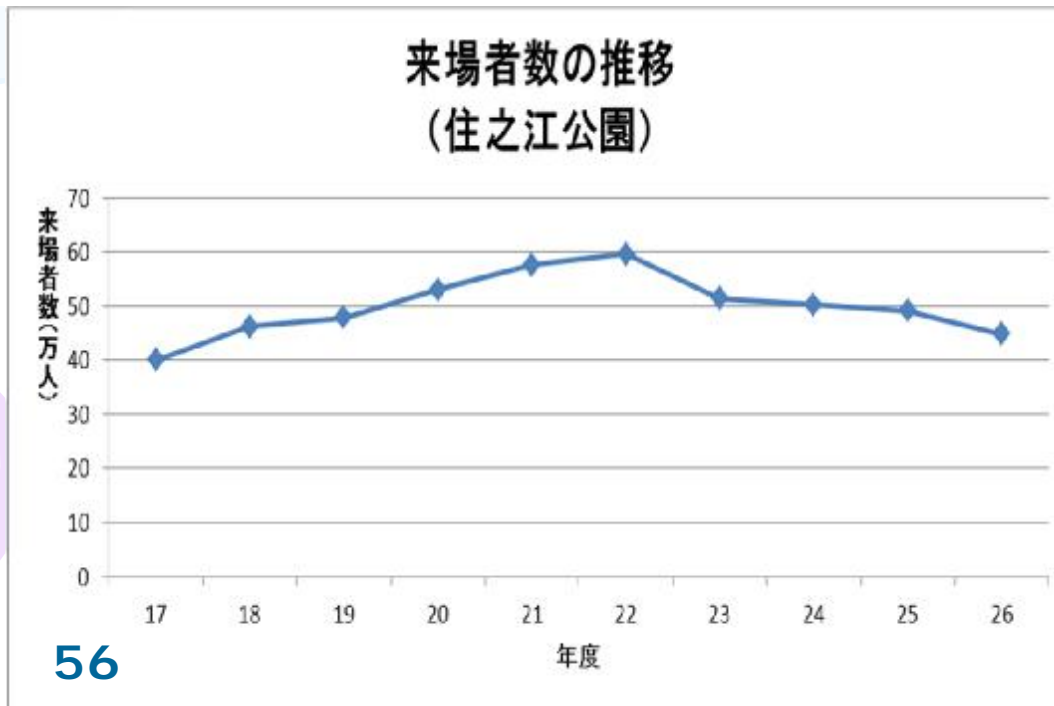
児童遊戯場

■ 周辺環境、地域特性

大阪市の南西部に位置し、地下鉄四つ橋線住之江公園駅に隣接、また府道大阪臨海線・大阪内環状線に面し、交通の便は良好。

■ 利用状況

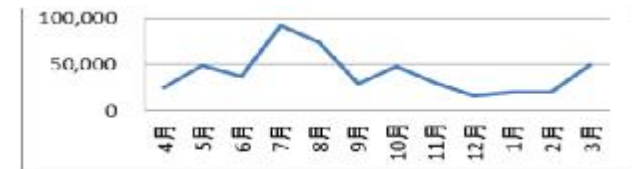
年間約50万人(直近3カ年平均)が来園。うち、野球場・テニスコートなどスポーツ施設の利用者は約8万人を数える。7・8月の利用(プール)が特に多い。各施設の利用者に加え、みどりの中でのレクリエーションや四季折々の花の彩りを求めている来園者も多い。



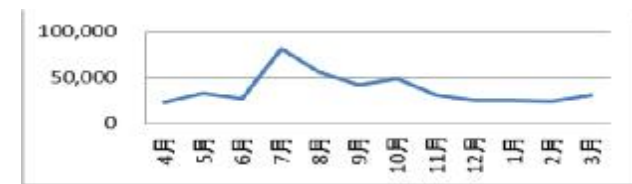
平成24年度



平成25年度



平成26年度



■ 主要施設(1) 花と緑のスクエア

◆ 特徴

- 公園の核となる施設であり、幾何学模様沈床花壇を中心に、四季を通じて継続的にバラや草花を美しく鑑賞できる「花苑」。
- 多様な花々が色彩も豊かに咲く修景を維持し、景観上の配慮をはじめ公園利用の快適性や安全性を考慮。
- イベントやライトアップを行うなど運営面でも工夫を行っている。



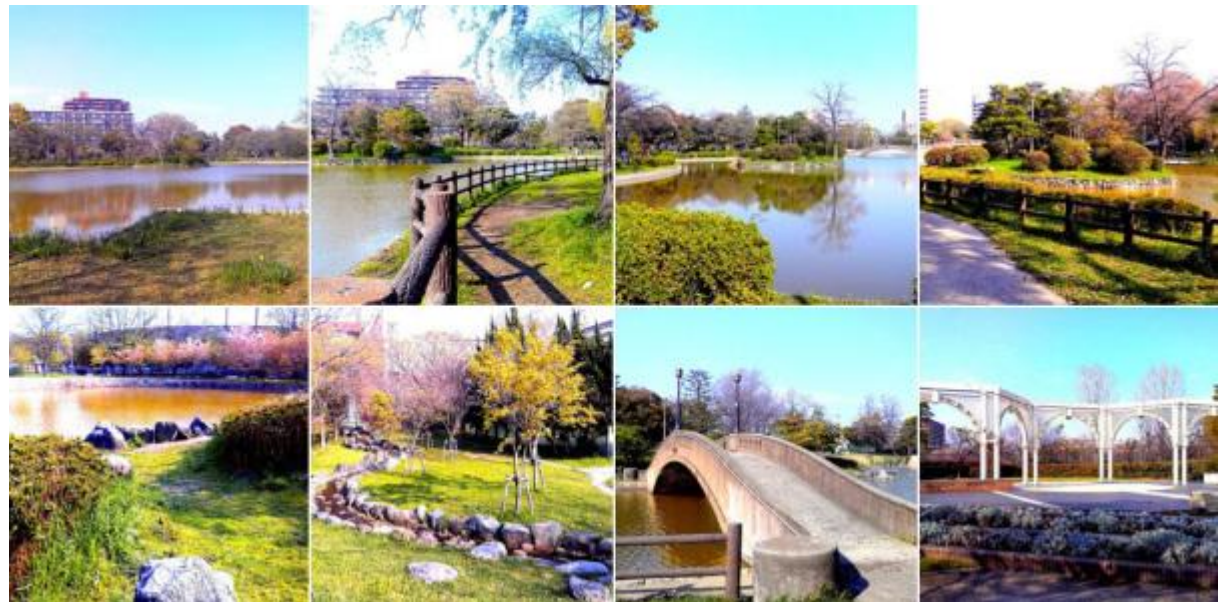
■ 主要施設(2) 大池周辺

◆特徴

○都市の中のアオシスとして、うるおいのある水辺景観を形成。

○大池にかかる太鼓橋など、歴史のある公園にふさわしい施設の適正な維持管理。

○水辺や園内の樹木が大きく成長しており、来園者の安全・安心に留意しながら、都心の風景と調和した景観づくりが必要。



■ 主要施設(3) 野球場、プール

◆ 特徴

○ナイター設備とスコアボードを備えた内野が黒土、外野は芝張りの本格的硬式野球場。

○毎年、夏と秋には高校野球の大阪府大会等の会場として使用。

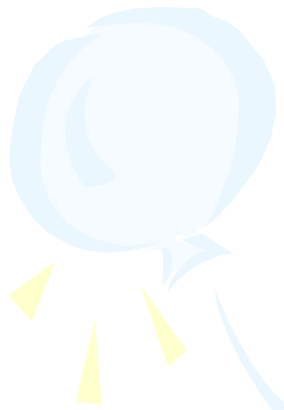
○50mプール1面と児童用変形プール1面があり、都心にある身近な屋外プールとして親しまれている。



野球場



プール





浜寺公園



浜寺公園

健康と生きがいを支える公園

公園のあらまし

【所在地】堺市西区浜寺公園町

【開設面積】75.1ヘクタール

【主要施設】ばら庭園、交通遊園、児童遊戯場（北児童遊戯場、南児童遊戯場、高石児童遊戯場）、プール（変形大、小、5m×3、50m×1）、徒渉池、軟式野球場（2面）、球技広場（2面）、ソフトボール広場、テニスコート（20面）、アーチェリー練習場、漕艇センター、大阪国際ユースホテル

【概要】「日本の歴史公園100選」にも選ばれており、春のお花見、春秋のバラが楽しめる「ばら庭園」、夏のプール、行楽期のバーベキュー、「交通遊園」の子供汽車やゴーカートなど、一年を通じて楽しめる施設が充実した公園。

（特徴）「日本の名松100選」に選ばれた約5,000本のクロマツが茂る。

- ・交通遊園、アーチェリー場等、浜寺公園に特有の施設を設置。
- ・地域の身近な自然を活かした取り組みやイベントが多数実施されている。



浜寺公園

健康と生きがいを支える公園

■ 主な施設

交通遊園
(子ども汽車)



ばら庭園



プール

浜寺公園



松林



児童遊戯場



歴史的石碑

■ 周辺環境、地域特性

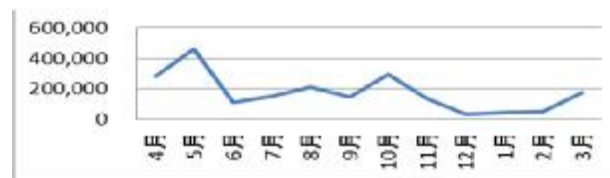
堺市と高石市の2市にまたがる公園で、浜寺水路西側に泉北臨海工業地帯の工場群と隣接市街地との緩衝緑地として泉北臨海緑地を配置。南海本線、阪堺電軌阪堺線、JR阪和線の各駅から近く、また、阪神高速湾岸線や府道堺阪南線に面し公共交通機関の利便性が高い。

■ 利用状況

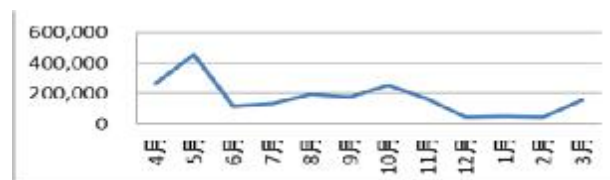
年間約210万人(直近3カ年平均)が来園。うち、約10万人がプールを利用。行楽シーズンであり、ばら庭園の見頃である5月の利用が特に多い。

各種スポーツ施設の利用に加え、交通遊園やばら庭園などの浜寺公園特有の施設に多数来園。地域と一体となったイベントも多数開催。

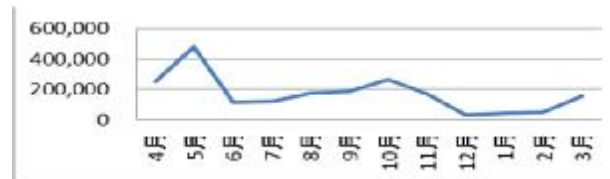
平成24年度



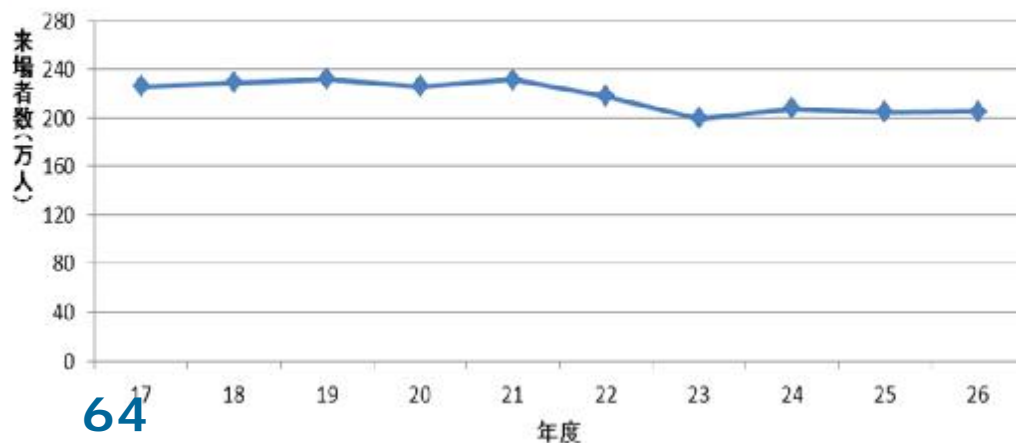
平成25年度



平成26年度



来場者数の推移 (浜寺公園)



■ 主要施設(1) 松林

◆ 特徴

- 古くは万葉の時代から「白砂青松」の景勝地として受け継がれ、幾度と伐採の危機を乗り越え守り継がれてきた歴史的・文化的遺産。
- 「日本の名松100選」にも選ばれた約5,000本のクロマツ林は公園のシンボルの存在。
- 近年、老木化や松枯れが目立ち、次世代への継承を見据えた維持管理が必要。



歴史的資料に残る名松



現在の松林

■ 主要施設(2) ばら庭園

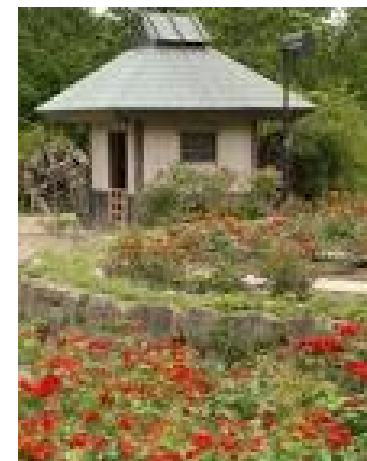
◆特徴

○重厚感のある松林を借景とし、日本の山野の風景の中にバラの彩りをデザインした、他に例を見ないコンセプトの回遊式庭園は、国内外で高い評価。

※平成18年「世界バラ会議」大阪大会
コンベンションツアーに選定

○野生種から現代種まで約250種、6500本のバラが咲き誇る庭園は、府営公園を代表する施設の一つ。

○「ばら庭園案内ボランティア」も活動し、きめ細かなPRに努めている。



■ 主要施設(3) プール

◆ 特徴

○ 堺泉北臨海工業地帯の埋立により海水浴場が閉鎖となり、代替施設として、昭和38年に完成。当時は東洋一と言われたプール群を誇った。

○ 変形大プール、変形小プール、50mプール1面、25mプール3面、スライダー等があり、年間約10万人の利用者を数える。



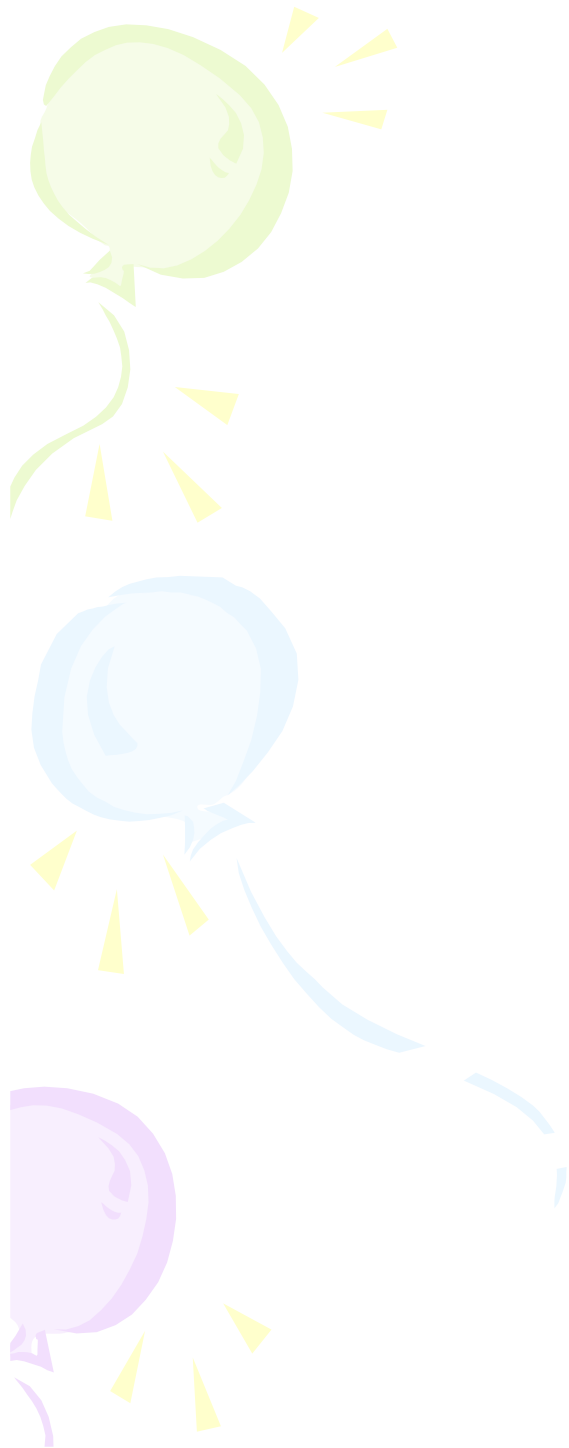
埋立前の海水浴場



S38開園当初の状況



現在も大阪を代表する屋外プールとして賑わう





二色の浜公園



二色の浜公園

海に親しむ公園

公園のあらまし

【所在地】貝塚市沢859-1

【開設面積】41.1ヘクタール

【主要施設】松風広場、レストハウス、野球場、球技広場、テニスコート、水上バイク斜路、バーベキューコーナー、駐車場

【概要】古くから白砂青松の海水浴場として知られ、25年に浜寺公園を代替する海浜公園として計画決定、児童遊戯場や芝生広場、休憩所等を整備。62年に脇浜地区において、球技広場、野球場、テニスコートなどを整備。

平成12年には、人工海浜、水上バイク斜路、バーベキューコーナーなどを有する海浜緑地を追加開設。

（特徴）園内のクロマツ林が「日本の白砂青松100選」に選定。

公園区域は海水浴場が運営される砂浜の半ばまで、他は港湾局管理の自然海岸。海浜緑地との間には貝塚市の「市民の森」が隣接、同自然遊学館と連携・協力して自然環境学習を実施。



二色の浜公園

海に親しむ公園

■ 主な施設



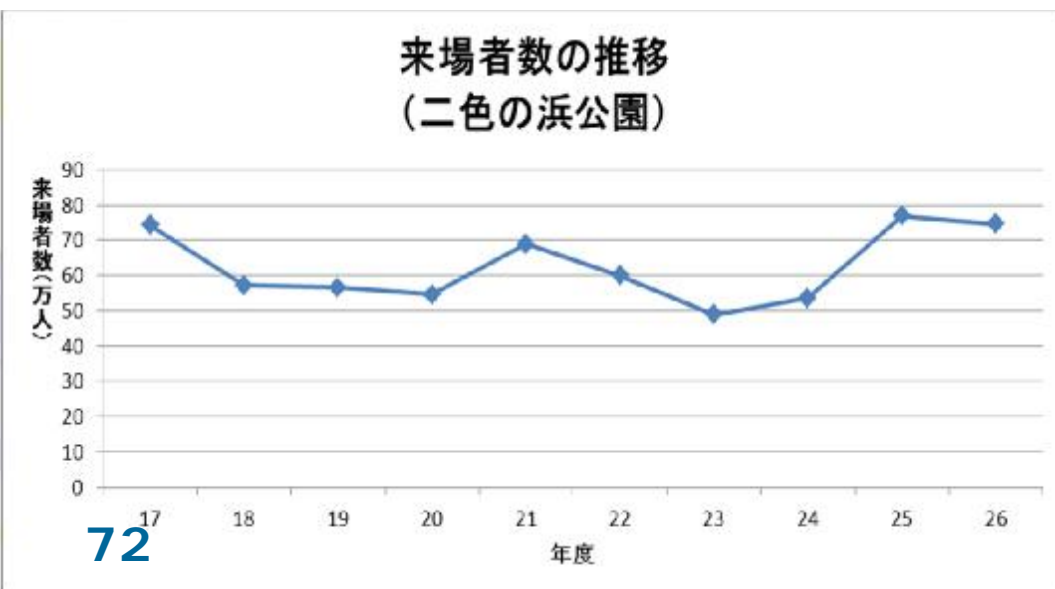
■ 周辺環境、地域特性

貝塚市南部に位置する、大阪で数少ない海水浴が可能な人工砂浜の二色浜海岸に隣接。公共交通アクセスは南海本線二色浜駅。

幹線道路である府道大阪臨海線が近接しており、園内を阪神高速湾岸線が上空占用。公園周辺は低層の住宅街。海浜緑地周辺は工場等が立地。

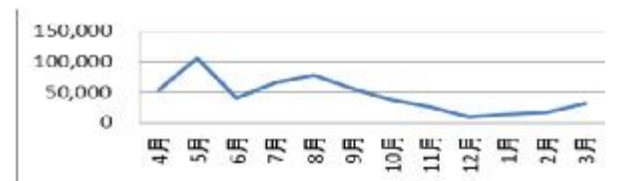
■ 利用状況

年間約70万人(直近3ヶ年平均)が来園。うち5割弱にあたる約30万人(直近3ヶ年平均)がゴールデンウィークの潮干狩りや夏の海水浴シーズンに来園。海水浴やマリンスポーツ、バーベキュー利用者が多い。海浜緑地の水上オートバイ、隣接する新旧二色港と合わせ、マリンスポーツのメッカ。

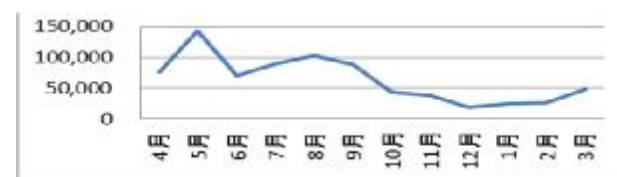


72

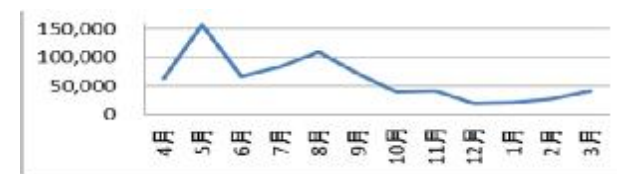
平成24年度



平成25年度



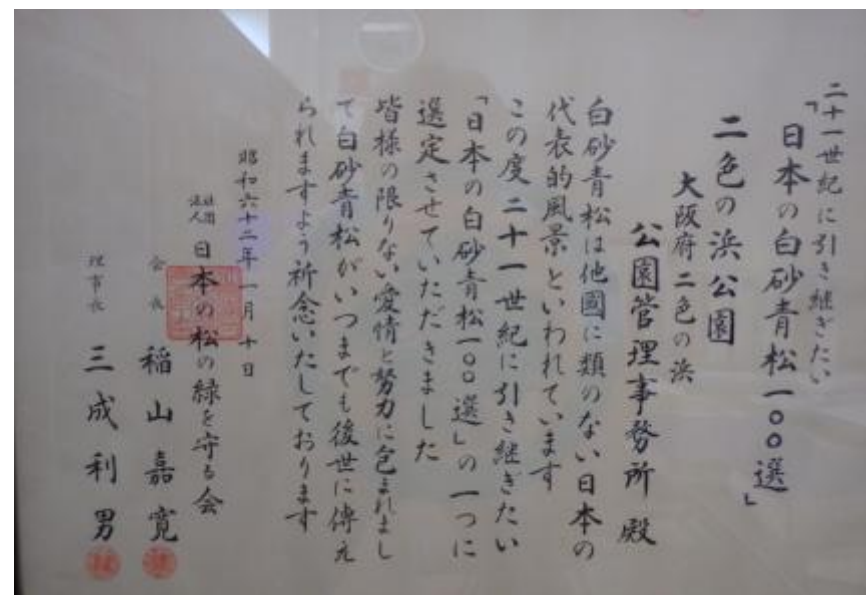
平成26年度



■ 主要施設(1) 松林

◆ 特徴

- 昭和62年、(社)日本の松の緑を守る会により、21世紀に引き継ぎたい「日本の白砂青松100選」に選定。
- 白砂青松の砂浜として親しまれており、園内に生育するクロマツ林を歴史的資源として捉え、後世への継承が求められている。
- マツクイムシ被害防止のための「こも巻き」による害虫防除を環境学習の一環として行い、冬の風物詩となっている。



■ 主要施設(2) 海浜緑地

◆ 特徴

- 国内唯一の公的な水上オートバイの専用施設を備えており、「ジェットスポーツ全日本選手権」などの会場になっている。
- 水上オートバイの体験乗船会など、マリンスポーツの楽しさや安全な楽しみ方を知ってもらうため、「マリンスポーツフェスティバルin二色の浜」を開催。
- 水上オートバイの登録制度やパトロール艇の配置により、安全な利用を促進。
- 大型炉(40名用)1基、中型炉(12名用)14基、小型炉(8名用)6基の野外炉を備える。





